

お名前	福留 隆司 (ふくとめ たかし)	
(年 齢)	50歳	(所属党派) 無所属
連絡先	電 話	072-623-0118
	Fax	072-
	E-mail	takashi41125jp@yahoo.co.jp
WEBサイト		

【茨木市議会議員選挙にあたっての立候補予定者への公開質問内容】

(ご回答の要領…①各質問に記述の要領により、ご回答をお願いします。

②ご意見等がある場合は、自由記述欄あるいは2枚目の余白部分にご記入ください。

質問(1)：「茨木市議会基本条例」について、どのように考えられますか(?)。

〔(A)・(B)・(C)のどれか、該当する□内に✓をご記入ください。〕

(A) 議会の改革・活性化を図るにふさわしい条例である。

(自由記述：

)

(B) 議会の改革・活性化には、さらに検討すべき点がある。

(自由記述：市民参加の機会が十分に与えられておらず、更なる機会拡充努力が必要。)

(C) 本市議会にとってふさわしい条例でない。

(自由記述：

)

質問(2)：茨木市議会活動・運営は、市民の期待に答えていると考えられますか(?)。

案内文で触れている「みえる議会」・「わかる議会」・「いかす議会」について、市民の視点では、次のような姿が望まれますが、それぞれに関し、どのように評価されているでしょうか(?)。

「みえる議会」…茨木市議会の実態を知り、議員活動や議会運営への関心を高められるよう、広報の充実などにより、市民に開かれ、身近な議会であること。

「わかる議会」…議会の存在意義や実績を理解し、問題意識を深められるよう、多様な対話機会の設定などにより、市民に説明責任がなされ、信頼される議会であること。

「いかす議会」…市民が責務を自覚するなか、QOL(生活の質)が向上できるよう、議会制度における参画の拡充・活用により、市民が参加・協働のできる議会であること。

〔それぞれの実現度を5段階(※)で評価のうえ、[]内に該当する段階のマークをご記入ください。〕

(※)5段階：充分実現している=[◎]、実現できている=[○]、検討すべき点がある=[△]、あまり実現していない=[×]、評価できない=[-]

「みえる議会」について…[△] (自由記述：議会改革推進委員会を公開すること。)

「わかる議会」について…[△] (自由記述：議会は、市民に対して説明責任を有していることから、市民からの質問に対しても分かり易い回答が必要。)

「いかす議会」について…[×] (自由記述：市民が発言できる機会をもっと増やすべきである。)

質問(3)：議員活動にあたっては、どの点を重視されますか(?)。

〔以下の10項目のうち、特に重視される活動を5つ選択し、該当する□内に✓をご記入ください。〕

- | | |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 地元住民の要望・意見を聞く活動 | <input type="checkbox"/> 所属会派中心の合意形成に努める活動 |
| <input type="checkbox"/> 行政運営を監視・評価する活動 | <input type="checkbox"/> 議員間の自由な討論を充実する活動 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 市民に議会活動の報告をする活動 | <input checked="" type="checkbox"/> 市民全体の福祉向上を目指す活動 |
| <input type="checkbox"/> 自らの資質向上に努める活動 | <input checked="" type="checkbox"/> 議会の改革・活性化を図る活動 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 市民全体の奉仕者としてふさわしい活動 (自由記述：議員は、市民に対して奉仕者であるという観点に立って、まずは自ら身を正し、市民に納得してもらえる様に努力する。) | |
| <input type="checkbox"/> 本市の現在及び将来を見据えての活動 (自由記述：) | |

◆【立候補されるにあたってのご決意や前掲質問に関するご意見等をご記入ください。】

茨木市議会基本条例第5条(市民に対する説明責任)において、“[第1項] 議会は、政策立案、政策提言、政策決定等に関し、市民に対して説明責任を有する。[第2項] 前項の責任を果たすため、議会報告会を開催するものとする。”と定められ、そうであるならば、その報告会は、単なる議会からの市民に対する一方的な発言の機会ではなくて、市民からも様々な発言の機会が与えられた双方向に意見がやりとりされる様な場とすべきである。

また、議会改革推進委員会は、原則公開とし、市民に分かり易く、より市民が議会や市政に関心を持つ様な環境づくりをすべきである。

議会及びそれを構成する議員というのは、市民より選ばれ、市政を負託されている者であるのだから、その身分や行為は、当然に市民から理解を得られる様でなければなりません。そう考えると、一例として、現在の市議報酬をとってみても、1,100万円というのは、市民の常識の範囲を超えており、私は、この4割カットを主張するものであります。

以上